

「伝統的工艺品」とは

日本国内には、数多くの工艺品があるといわれていますが、その中でも、それぞれの地域において100年以上の歴史をもち、先人から受け継いだ伝統的な技術・技法を今に伝える「伝統的工艺品」は、貴重な財産です。

平成29年8月現在、経済産業大臣が指定する「国指定伝統的工艺品」は全国に225品目、鹿児島県では「本場大島紬」、「川辺仏壇」、「薩摩焼」の3品目が指定されています。今回は、南薩地域の地場産業である「川辺仏壇」を支える伝統の技と、その技を生かして新たな製品づくりに挑む産地の動きについて、特集で紹介します。



「川辺仏壇」の由来

明治初期、薩摩地方では仏教排斥の動きがあり、多くの仏像・仏壇を失いました。磨崖仏など信仰心に厚い南九州市川辺町では、隠れ念仏のかたちをとり、見かけはタンスの「隠し仏壇」ができました。その技術が引き継がれ、現在の川辺仏壇に至ります。そして昭和50年(1975年)には経済産業大臣指定の「伝統的工艺品」に選ばれました。

川辺仏壇の「7つの技」

川辺仏壇の製造工程は、ほとんどが手作業で、以下の7工程に分業化されています。

南九州市川辺町は、これら7工程全ての職人がそろっている全国でも珍しい仏壇産地です。

木地(きじ)



杉などの材木を乾燥させた後、材を手作業で切り分けます。

金具(かなぐ)



銅板の上にタガネを当て、文様を打ち出します。

宮殿(くうでん)



小さな升目で作られた格子を組み上げて作ります。

彫刻(ちょうこく)



仏壇には、多様な彫刻が施されています。滑らかな仕上がりが不可欠です。

塗り(ぬり)



良質の天然の漆を使い、ゴミが入らぬように塗っていきます。

蒔絵(まきえ)



漆を塗った上に、さらに漆で下絵を描きます。金粉や青貝の装飾を施し、仕上げます。

箔押し(はくおし)【仕上げ】



しわが寄らないよう、金箔を貼り、部材がそろったらキズをつけないように組み立てます。





川辺仏壇の新たな可能性

時代の変化とともに、仏壇のある家が急激に減るなか、平成28年(2016年)から仏壇づくりの技を生かしたアイテムの制作に取り組むプロジェクトが始まりました。このプロジェクトに挑む匠たちは「川辺手練団(かわなべしゅれんだん)」として、気鋭のクリエイターとの協働で日々商品開発に取り組んでいます。「川辺手練団」が開発した商品は、スピーカー、ランプシェード、素材が紙のハンディバッグ、神棚、小物入れなど、日々の生活に寄り添ったもののほか、レンタル用の神輿まで数多くあります。神棚には木地や塗りの技術が、スピーカーには木地・宮殿・金具・蒔絵・塗り・彫刻・箔押しが用いられています。



くすだま



キセル型の薬味入れ



ペーパーコンテナ



スピーカー

「川辺手練団」が商品開発したランプシェード

商品開発したランプシェードについて、「川辺手練団」の木原勝雄さんに話を聞きました。

ランプシェードは、仏壇の「蝶番」づくりの技が活かされており、真ちゅう又は銅から製作され、研磨布を使って、ひとつひとつ手作業で磨き上げています。磨かれたランプシェードは、さらにワックスを塗ってコーティングした後、組み立てて完成とのことです。

仏壇の生産額が減少している現在、仏壇づくりの技を生かした新たな可能性に取り組む必要があると考えており、木原さんは「川辺仏壇の魅力を海外に向けても発信していきたい。」と語ってくれました。

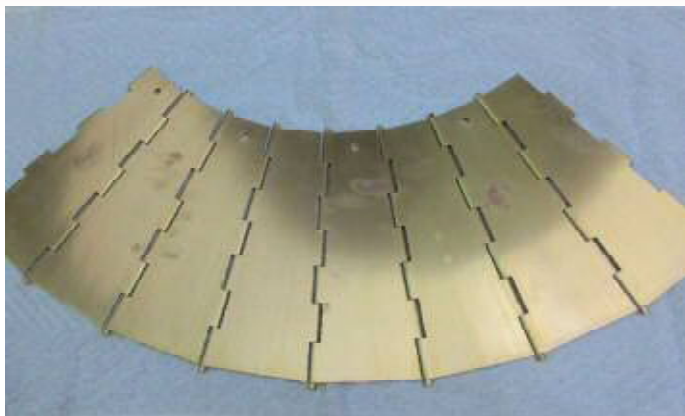
「川辺手練団」のホームページ：<http://kawanabe-syurendan.com/>



木原 勝雄さん



仏壇の蝶番



ランプシェード研磨前



ランプシェード

川辺仏壇工芸会館

川辺仏壇協同組合会館が、平成29年3月に「川辺仏壇工芸会館」としてリニューアルオープンしました。1階展示場には、新旧の川辺仏壇や川辺手練団によるアイテムなどが展示してあります。また、2階は体験フロアとなっており、「蒔絵体験」や「彫金・風鈴体験」など様々な体験ができます。

【お問合せ先】 鹿児島県川辺仏壇協同組合 0993-56-0240
南九州市川辺町平山6140-4

【体験について】※体験内容によって異なります。
収容人数:10名～ 体験所要時間:30分～
体験料:1,000円～



「川辺仏壇工芸会館」外観



鹿児島県川辺仏壇協同組合理事長
原口和秋さん

最近では、見学・体験をする海外からのお客様もいます。ぜひ、職人の技を味わいに、旅の途中に川辺仏壇工芸会館へお立ち寄りください。

南薩地域でつくられている県指定の「伝統的工芸品」

「伝統的工芸品」には、国指定の他にも鹿児島県が指定する「県指定伝統的工芸品」があり、平成29年8月現在、34品目あります。南薩地域振興局管内には次の5品目があります。



薩摩深水刃物（枕崎市）



薩摩つげ櫛（指宿市）



加世田鎌・加世田包丁（南さつま市）



薩摩切子（南さつま市）



坊津ガラガラ船・唐カラ船（南さつま市）